

平成30年度における 手取川上流大汝国有林 崩壊地対策について

平成30年6月13日
林野庁近畿中国森林管理局
石川森林管理署



国民の森林・国有林



近畿中国森林管理局

30年度に実施する対策について

自然導入部

自然植生の侵入が見られており経過を観察



斜面上部(乾燥部)

比較的安定した中腹部を中心に土壌条件を改善

■航空緑化導入工B
肥料等の散布



イメージ



撮影:平成30年6月8日(石川森林管理署)

斜面上部(湿潤部)

ヤナギの枝を活用した緑化

■航空緑化導入工C
ヤナギの枝等の散布

■航空コア緑化工B
ヤナギの枝・土入りの麻袋の散布
(300袋)



イメージ

平坦部

土留工の上部を中心に近隣で採取した郷土種子による緑化

■航空緑化導入工A
種子(ススキ、ハンノキ等)、肥料等の散布

■航空コア緑化工A
種子(イタドリ、サウゲルミ)、肥料、保水剤入りの水溶性容器を散布(300袋)



施工箇所(袋型石詰土留工の上部)



水溶性容器イメージ

■袋型石詰筋工

石を詰めた袋(85個)を筋状に並べ雨水を分散して地表面の侵食を防止し、緑化の環境を整備。



袋型石詰筋工イメージ

30年度対策の進め方について

対策の進め方

- 6月中旬～ **航空緑化導入工(A・B・C)**
航空コア緑化工(A・B)
発芽に必要な温度、水分が得られるよう
夏期に入る前に実施
- 8月～ **袋型石詰筋工**

※秋口には、31年度対策用の種子採取を、関係機関と連携し実施予定

※航空レーザー測量の実施等により現地斜面に係る詳細データを把握しつつ経過を観察

崩壊地の状況

融雪後(H30. 6)



6月8日に林野庁、技術検討会委員の合同で崩壊地の現状確認を実施



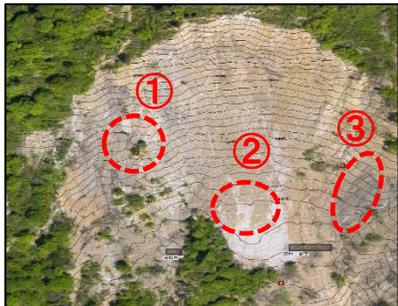
一部で植生の侵入を確認
【フキ、ヨモギ、ヤナギなど】

【現状確認の結果概要】

- 昨年の降雪前の状況から、目立った拡大崩壊や土砂移動は確認されなかった。
- これまで実施した袋型石詰土留工等の構造物に大きな変状はなく、土砂の移動や侵食を抑止し植生導入の効果を発揮していると考えられる。
- 種子、肥料散布といった植生回復を図るための緑化対策を進めることが可能と考えられる。

H29. 10植生調査時

[確認された植生]



- ①地点
(草本類)・フキ・イタドリ・フジアザミ
(木本類)・ウダイカンバ・ヤナギ
- ②地点
(草本類)・フキ・ヨモギ・イタドリ・ススキ
(木本類)・ヤナギ
- ③地点(木本類)・ヤナギ